

六甲アイランドだより

地域広報紙

2022年10月27日(木)発行
自治会報 第97号

発行人 實光 良夫
編集 自治会 広報部
発行者 六甲アイランドCITY自治会
神戸市東灘区向洋町中2丁目8番地
TEL (078) 857-7375 FAX (078) 857-7376
E-mail: https://www.ric.jp/
Mail: ric-jichikai@ricv.zaq.ne.jp
印刷 (株)甲南堂

第20回

RIC文化フェスティバル開催

アイランドの秋の恒例行事・RIC文化フェスティバルも今年で20回目を迎えます。

■開催日時：11月20日(日曜)

■開場10:50 開演11:00～16:30

■開催場所：神戸ファッション美術館5階

■オルビスホール

■入場無料

フレンドリーな芸術文化都市・六甲アイランドには、プロの演奏家だけでなく、多種多様なご趣味を持つ住民の方々がいらっしやいます。

文化フェスティバルという文化事業を通して、住民自身の文化芸術を発信することで六甲アイランドの良さ、美しい街、住み続けたい街を表現できれば嬉しいです。

舞台は途中に休憩を挟んで2部構成、小山乃里子さんの軽妙な司会で進んでゆきます。

今年もダンス、バレエ、フラダンス、太極拳、ハワイアン、ピアノ弾き語り、バンド演奏、合唱など盛りだくさんの舞台を予定しております。

日頃の活動状況や練習風景などのトークも交え、舞台にかける熱い思いを感じていただければと思います。

秋の一日、たつぷりとアイランドの文化をお楽しみください。

今年のスペシャルゲストは2組です。

■ソプラノ歌唱「安楽みゆきさん」と

■ピアノ演奏「右近恭子さん」

■二胡、ピアノ、バイオリン演奏「木村ハルヨさん、安東フミさん、樋口友佳子さん」

文化フェスティバルは、運営スタッフも全てボランティアです。演奏者として舞台上に上がれなくとも、「活動してみたい!」と思った方、是非ともご一報ください。

フェスティバルの意味は「お祭り」。出演、運営、観客と違いはあっても、六甲アイランドを愛する者同士、拍手と歓声に包まれた感動のステージをご一緒に創りあげましょう。

皆様のご来場をお待ちしています。なお、コロナの感染拡大状況によっては、使用客席を間引きいたしますので、早めにご来場ください。ご来場の際は、マスク着用をお願いします。



昨年のフィナーレの様子



ソプラノ 安楽 みゆきさん



ピアノ 右近 恭子さん



二胡 木村 ハルヨさん

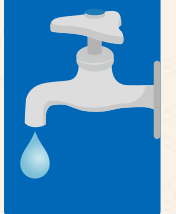


ヴァイオリン 安東 フミさん



ピアノ 樋口 友佳子さん

「ふっQすいせん」のお披露目



向洋小学校校庭の南東角に「ふっQすいせん」が設置され、9月10日(土)にお披露目式が行われました。4年生の児童と保護者を対象に授業の一環として、神戸市水道局職員

の皆様のご来場をお待ちしています。皆様のご来場をお待ちしています。皆様のご来場をお待ちしています。

の皆様の指導のもと、自分たちで臨時給水設備を組み上げ、給水を体験しました。阪

■来年3月12日(日)の地域防災訓練では、シティヒル東緑地600tタンクからの給水訓練を予定しています。皆様のご参加をお待ちします。

神・淡路大震災時にはまだ生まれていなかった児童たちですが、水道局職員の「大震災のことを知っていますか?」との問いかけに全員が知っていると手を挙げました。水の大切さを十分に認識している児童にとって、給水訓練は貴重な体験になったようです。

神戸市における災害時の応急給水設備には以下の3つのパターンがあります。

①貯水機能のある災害時給水拠点 六甲アイランドでは東緑地にある600tタンクがこれにあたります。災害時のみに利用され配水管本体が破損した場合でも600tの水を貯め置きでき、住民約2万人の10日間の水が確保されます。

②ふっQすいせん 今回、向洋小学校に設置されたもので、災害時に住民の方々が給水栓として利用できます。

③いつでもじゃぐち 平常時は水飲み場として利用でき、災害時には地元住民が給水栓として利用できます。避難所となる公園に設置が進んでいます。六甲アイランドではリバーモール、シティヒルにあるものがこれに相当します。

給水を体験する児童たち



給水を体験する児童たち



校庭に設置された「ふっQすいせん」



六甲アイランド ラジコン潜水艦物語



海底二万哩の「ノーチラス号」、ミクロの決死圏の「プロテウス号」、西ドイツのU・ボート「U-96」が目の前で潜航している。

これだけで往年の少年少女は胸がときめき身を乗り出すに違いない。

日曜日の朝、地球儀噴水(通称おっぱい噴水)につながる水路の畔で送信機を操作する男性たちはリバーモールの風景である。

子どもたちが遊び住民の憩いの場所でもある水路は住民最優先と考え、節度保ち控えめに利用を続けている。彼らは全国に会員を持つ日本模型潜水艦協会(JMSS)のメンバーたちだ。

■街の歩みと共に

遡ること三十有余年前、博士号取得のため米国マイアミ大学医学部に留学中の1人の若者の取材旅行から物語は始まる。カナダ・バンクーバーのカルタス湖で行われる「RCサブレガッタ(北米ラジコン潜水大会)」の取材記事は日本のRCマガジンに掲載され国内のラジコン界に強烈な衝撃を与えた。帰国後もしばらくは「Dr.アキの神戸通信」としてコラムの連載を続け「ラジコン潜水艦のすすめ」など構造と製作法などについて講演も何度か行っていた。2002年のある日曜日の朝、訪れた六甲アイランドでラジコン潜水艦が数隻潜航しているのを目撃し、地元神戸で同好会ができていないことを知り感激し仲間に加わった。

彼こそ日本のRC潜水艦のレジェンドと言われる眼科医のドック・アキ氏である。街開きと時期を同じくして少数の愛好家により始めた同好会が、技術面や運営面においても同氏の参加が大きな刺激となったことは想像に難くない。

■手づくりへのこだわり

RC(ラジコン)潜水艦の既製品もある中、設計から行い、驚くことに潜水艦の外形もFRP成形し製作する会員もいると聞く。ふと浮かぶアイデアを考え続け試行錯誤を繰り返す。行き詰まる仲間との雑談の中で解決の手がかりを探る。製作期間が数年を要するのは納得がいく。

■伝えたいこと

自分の手で触れ、それに手を加えることで広がる次の展開を楽しむことを、「遊び」にも取り戻したいと考え、過去には近隣のホテルとイベントを共催した。

結果を効率よく手に入れることを支持する風潮がある。五感を駆使し右往左往する中で得られる「知見」に加えて、そこで育まれる「人とのつながり」も彼らは伝えたいのだからと思う。

■趣味/四次元のススメ

日曜日の朝、JMSSメンバーにさりげなく話しかけてみる。あなたは日常から少し離れた「趣味」という四次元の時空を共有できるかも知れない。

■サブレガッタJAPANの開催

世界の海に潜行している潜水艦と同じように海水はラジコンの電波も通さない。塩分を含まない淡水の池、河川で潜航させ

なければならぬのでリバーモールの水路は最適なのである。

現在、JMSSはヴィレンブロック大尉(医師/ハンドルネーム)をリーダーに30名のメンバーで活動交流している。毎年開催されるサブレガッタJAPANは「マイサブマリン」による競技会である。今年9月10日、宝塚市民プールで開催した。水中でのフラフープの輪くぐりと水底での着底、スラローム潜航、水面の定位浮上の精度などを競う。

結果を効率よく手に入れることを支持する風潮がある。五感を駆使し右往左往する中で得られる「知見」に加えて、そこで育まれる「人とのつながり」も彼らは伝えたいのだからと思う。

結果を効率よく手に入れることを支持する風潮がある。五感を駆使し右往左往する中で得られる「知見」に加えて、そこで育まれる「人とのつながり」も彼らは伝えたいのだからと思う。

結果を効率よく手に入れることを支持する風潮がある。五感を駆使し右往左往する中で得られる「知見」に加えて、そこで育まれる「人とのつながり」も彼らは伝えたいのだからと思う。

結果を効率よく手に入れることを支持する風潮がある。五感を駆使し右往左往する中で得られる「知見」に加えて、そこで育まれる「人とのつながり」も彼らは伝えたいのだからと思う。

■サブレガッタJAPANの開催

世界の海に潜行している潜水艦と同じように海水はラジコンの電波も通さない。塩分を含まない淡水の池、河川で潜航させ



「こべっこあそびひろば」六甲アイランド

「こべっこあそびひろば」六甲アイランドは神戸市が地域子育て拠点として、2021年4月に開設しました。0歳から6歳の就学前の子どもと保護者を対象とした屋内型あそびの広場です。ハーバーランドにあるこべっこランドを地域に展開していく事業の一環として北区に続いて2施設目です。

施設内は「赤ちゃんひろば」

「動のひろば」「静のひろば」に分かれています。それぞれのスペースにはヨーロッパ諸国の玩具が設置されている他、絵本や熱帯魚も設置されています。「動のひろば」では滑り台、クライミングウォールなど思いっきりからだを動かすことができ、「静のひろば」では絵本を読んだり手遊びをしたりとゆっくり過ごすごとができます。また「赤ちゃんひろば」ではまだしっかり歩けない子ども達も親子でゆったりと過ごすごとができます。ここでは、安心・安全に過ごせるようにスタッフの方々がやさしく見守っておられます。

保護者の方々からは、「毎日来ています」「子どもは熱帯魚が好きです」と見えています。「ここでお友達ができました」などの声を聞くことができました。スタッフの方からは「気になる方がおられたらさりげなく声をかけています」「天候に左右されることなく安心して過ごしていただけると思います」との声も聞きました。

平日は島内のお母さんと一緒に

平日は島内のお母さんと一緒に親子が多いのですが、土日祝日はお父さんと一緒に親子連れが遠くからでも来られるそうです。「こべっこあそびひろば」六甲アイランドでは月毎にイベントも企画されているとのこと。是非一度ご利用してみたいかがですか。

取材：広報部岡島順子



編集後記

3年ぶりにラジオ体操、夏祭りを開催できました。夏祭りは3年間のうっぶんを晴らすかのように、最高に盛り上がりました。その模様は30周年映像としてYouTube配信しておりますので、ご覧になってください。

お問い合わせ先

六甲アイランドCITY自治会 (RICふれあい会館) 広報部まで
TEL 857-7375 FAX 857-7376
E-MAIL ric-jichikai@ricv.zaq.ne.jp

